

# 環境保全型農業直接支払交付金の概要

(県事業名:エコ農業直接支払)

地球温暖化防止や、生物多様性保全に効果の高い営農活動に掛かる経費を、国、県、市町村が補助する。平成27年度からは「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づく制度として「日本型直接支払」の一環として実施。

## 事業概要

### 事業要件

- ① 販売を目的に生産していること
- ② エコファーマーの認定を受けていること※
- ③ 農業環境規範に基づく点検を行っていること
- ④ 自然環境の保全に資する農業生産活動を実施すること

### 交付対象取組

化学合成農薬及び化学肥料  
(窒素成分)を5割以上削減

温暖化対策や、生物多様性保全に  
効果の高い次の取組から一つ以上  
実施

- ・カバークropp
- ・たい肥の施用
- ・リビングマルチ
- ・草生栽培
- ・冬期湛水

有機農業の実施

#### 要件

- ・化学合成農薬及び化学肥料を  
使用しないこと
- ・遺伝子組換え技術を利用しない  
こと

※ ①共同販売経理集落営農組織、  
②エコファーマー認定基準がない  
作物を栽培する農業者、③有機農  
業者、④特裁認証を受けている農  
業者については、特例措置により、  
エコファーマーの認定を受けなく  
ても対策に取り組みます。



## 生産者への支援

国(1/2)

国(1/2)  
県(1/4)

国(1/2)  
県(1/4)  
市町村(1/4)

生産者

#### 【交付単価(生産者への10aあたりの交付単価)】

- ・8,000円(カバークropp、草生栽培、リビングマルチ、有機農業)
- ・4,400円(たい肥施用)
- ・3,000円(有機農業のうち雑穀、飼料作物)

★平成27年度から、複数(2つまで)の取組を組み合わせることで交付を受けられます(最大16,000円/10a)。

# 環境保全型農業直接支払交付金の平成27年度事業実績及び 平成28年度実施計画について

平成28年5月25日  
埼玉県農林部農産物安全課

## 1 平成27年度実績

取組市町村数	事業計画※ 認定件数	交付市町村数	交付件数	実施面積
14	48	13	43	174 ha

※平成27年に認定した5年間(平成27～31年度)の事業計画  
(取組別内訳)

対象取組	交付件数	実施面積	取組面積の多い市町村
カバークロープの取組	17	49 ha (28%)	上里町(18 ha) さいたま市(13 ha) 本庄市(13 ha)
堆肥の施用の取組	1	6 ha (4%)	吉見町(6 ha)
有機農業の取組	26	118 ha (68%)	小川町(27 ha) 狭山市(20 ha) 本庄市(20 ha) 上里町(13 ha)
リビングマルチの取組	2	0.3 ha (0.2%)	
合計	43 (3件重複)	174 ha (100%)	

## 2 平成28年度実施計画

- (1) 市町村担当者等を対象に事業説明会を開催し、事業推進を図る。
- (2) 新規で取組の実施を検討している農業者団体に対して、情報提供を行う。
- (3) 6月末までに市町村に提出される事業計画に基づき、面積等の取りまとめを行う。

取組市町村数	交付予定件数	実施面積
14	32※	約200 ha(見込)

※平成27年度認定件数には、制度の移行措置として単年度で認められた計画(16件)が含まれていたため、平成28年度の交付件数は32件の見込となっている。

## JA埼玉ひびきの上里一元出荷協議会有機JAS部会について

平成28年5月25日

本庄農林振興センター

## 1 概要

名称：埼玉ひびきの農業協同組合上里一元出荷協議会 有機JAS部会  
所在：上里町大字帯刀（事務局：JA埼玉ひびきの上里営農経済センター）  
設立年月日：平成12年9月25日  
会員数：11名  
主な栽培品目：エダマメ、ブロッコリー、ねぎ、こまつな等  
有機JAS認証面積：11.2ha（平成27年）

## 2 特徴

## (1) 栽培方法

自然農法<sup>\*</sup>を実践することを規約とし、会員は定められた栽培方法により生産を行っている。

※自然農法とは

- ・化学肥料、農薬及び土壌改良を目的とする化学合成資材は一切使用しない
- ・堆肥を利用する場合、家畜堆肥は一切使用しない
- ・自然の持つ力を最大限活用するため、そこで収穫された残渣は戻す 等

## (2) 有機JAS認証

平成12年に有機JAS認証を取得して以来、16年にわたり有機農業に取り組んでいる。

## (3) 販売先

- ・キリンシティへエダマメを共同出荷
- ・系統出荷により有機農産物取扱い業者へ受注販売（ブロッコリー、ねぎ等）
- ・個人宅配
- ・JA直売所かみさと館（有機JAS農産物専用コーナー）への出荷 等



会員が共同でエダマメを収穫

## 3 環境保全型農業直接支払交付金取組状況(平成27年度実績)

取組者数 10名  
実施面積 延べ13.1ha（うち複数取組3.3ha）  
交付金額 1,048,800円  
取組内容 有機農業



有機JAS認証農産物

## 4 受賞歴

第17回環境保全型農業推進コンクール奨励賞（全国環境保全型農業推進会議会長賞）受賞

# 須賀利治氏の経営概要

平成28年5月25日  
本庄農林振興センター

## 1 概要

### (1) 経営規模

露地野菜2.4ha、施設野菜（パイプハウス）0.1ha、主穀2.5ha

### (2) 労働力

6人（本人夫婦、両親、子2人）

### (3) 主な栽培品目

露地野菜（だいこん、ねぎ、コカブ、エダマメ、にんじん、たまねぎ 等）

施設野菜（こまつな、ほうれんそう 等）

主穀（水稻、小麦、大豆）

## 2 特徴

### (1) 栽培

父・一男氏の代から60年にわたり自然農法に取り組んでいる。

化学肥料、農薬及び化学合成資材を一切使用せず、植物性の自家堆肥のみを使用した栽培を実践している。

詳細な栽培記録と長年の経験に基づき、虫の被害を受けやすい時期をずらしたは種や、ほ場に合わせた栽培管理を行い、多品目の野菜を栽培している。

### (2) 主な販売先

個人宅配（野菜の詰め合わせ）

ヤマキ醸造株式会社への契約販売（大豆）

キリンシティへの契約販売（エダマメ）

### (3) 地域農業への貢献

県内でいち早く自然農法に取り組む。

平成5年に自然農法上里生産組合を設立、平成8年に豆太郎（大豆の生産組合）を設立、平成12年JA埼玉ひびきの上里一元出荷協議会有機JAS部会を設立し、有機農業の先駆者として活躍している。



有機 JAS 認証ほ場  
（にんじん、たまねぎ）

## 3 環境保全型農業直接支払交付金取組状況（平成27年度実績）

実施面積 延べ5.2ha（うち複数取組1.48ha）

取組内容 有機農業